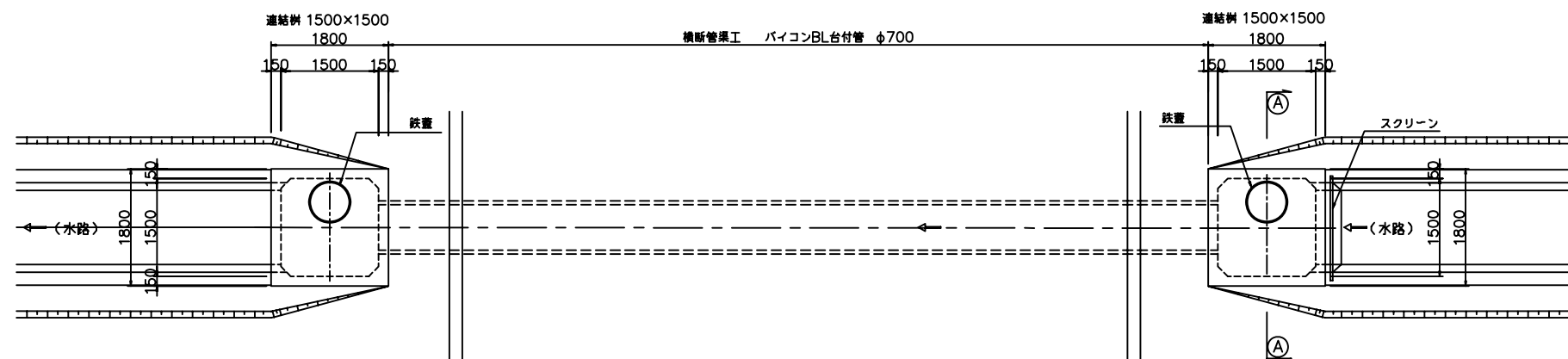


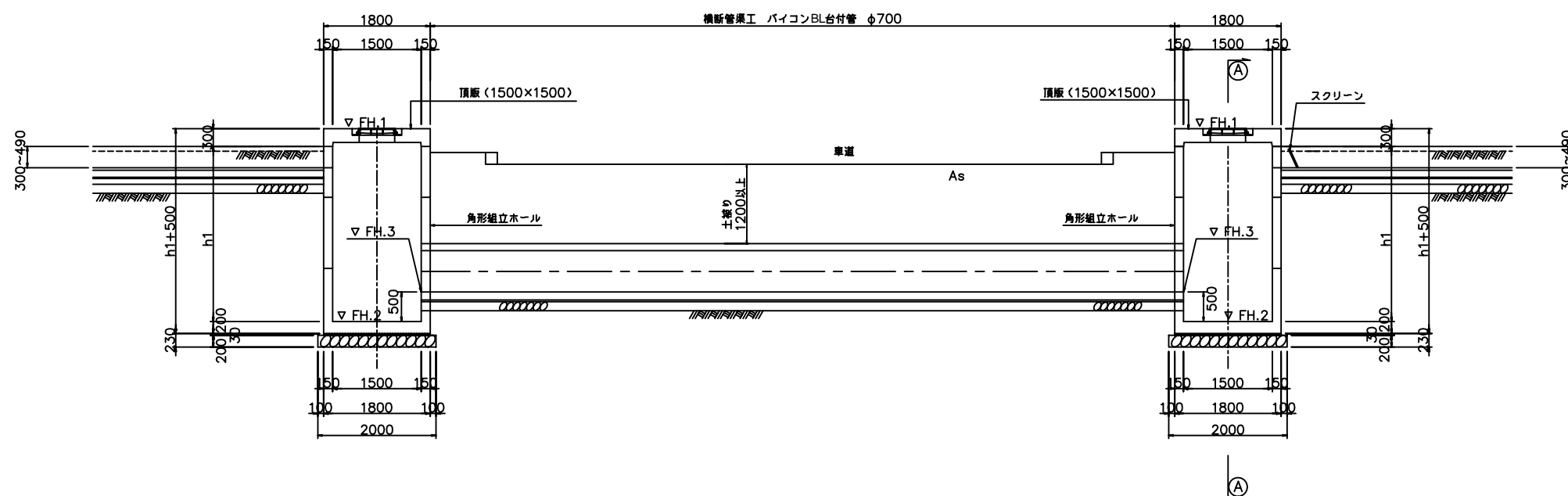
横断管渠構造図 S=1:50

横断管渠断面図 S=1:30

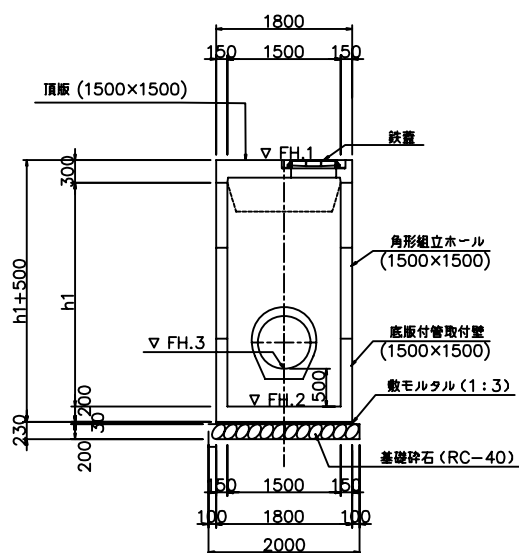
平面図



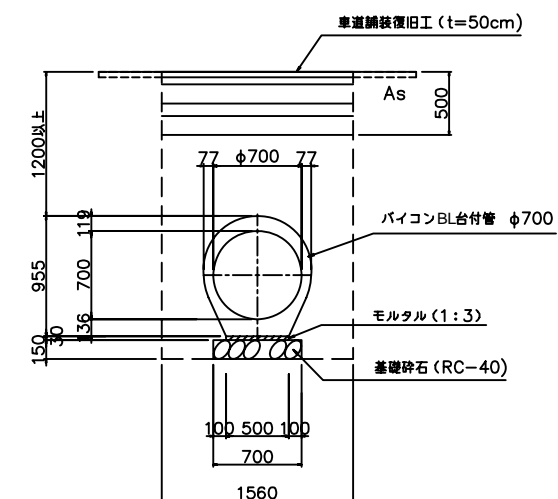
縦断面図



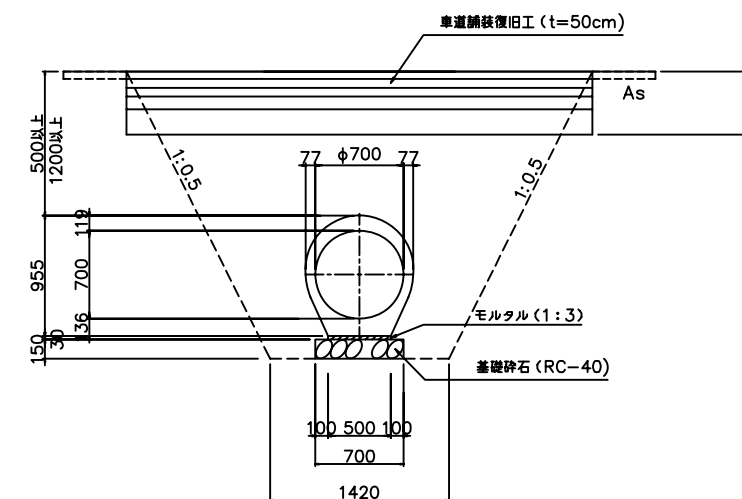
①-① 断面図 S=1:50



バイコンBL台付管φ700 (土留め掘削)

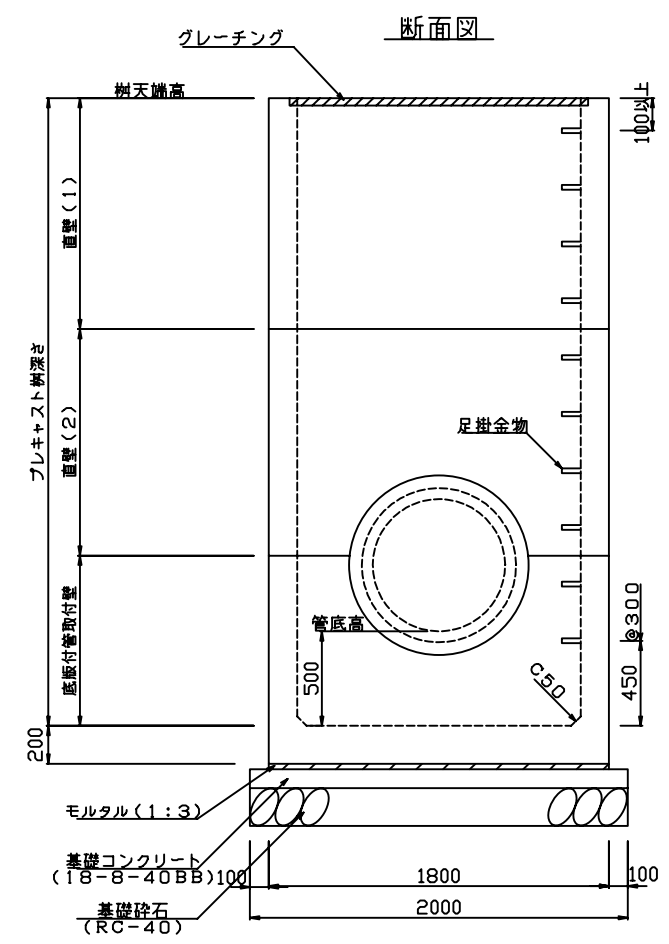
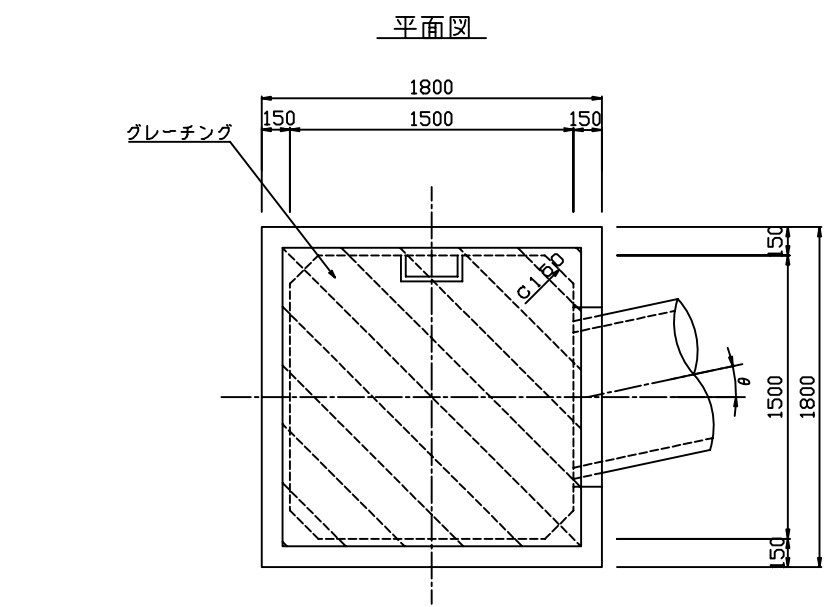
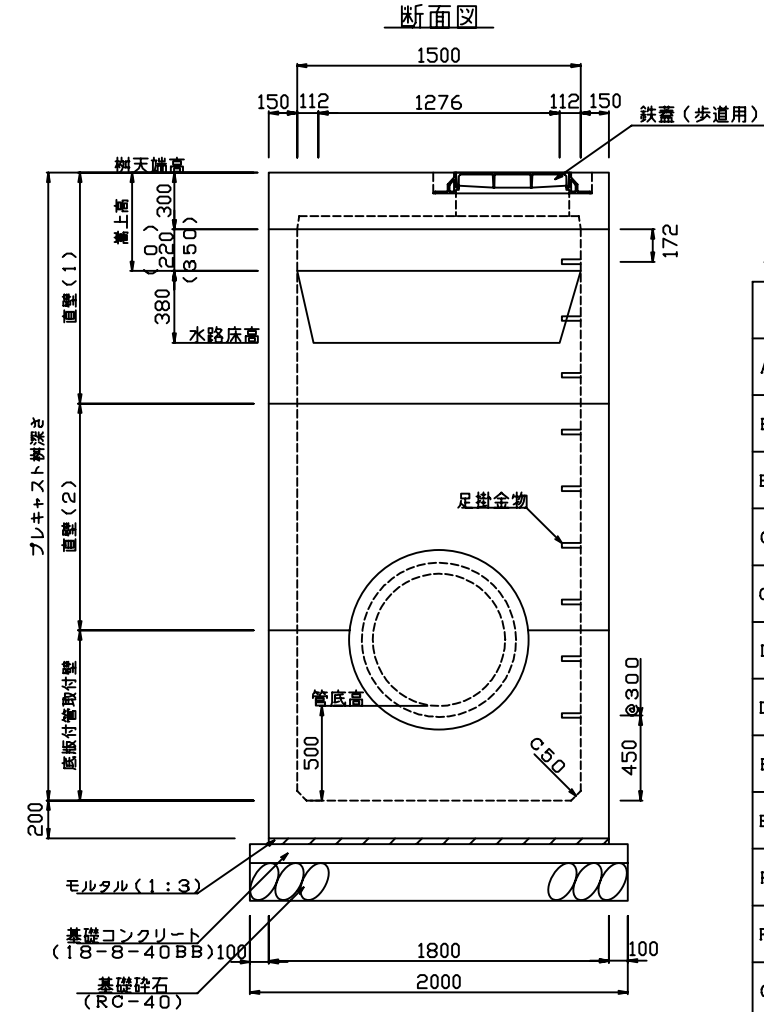
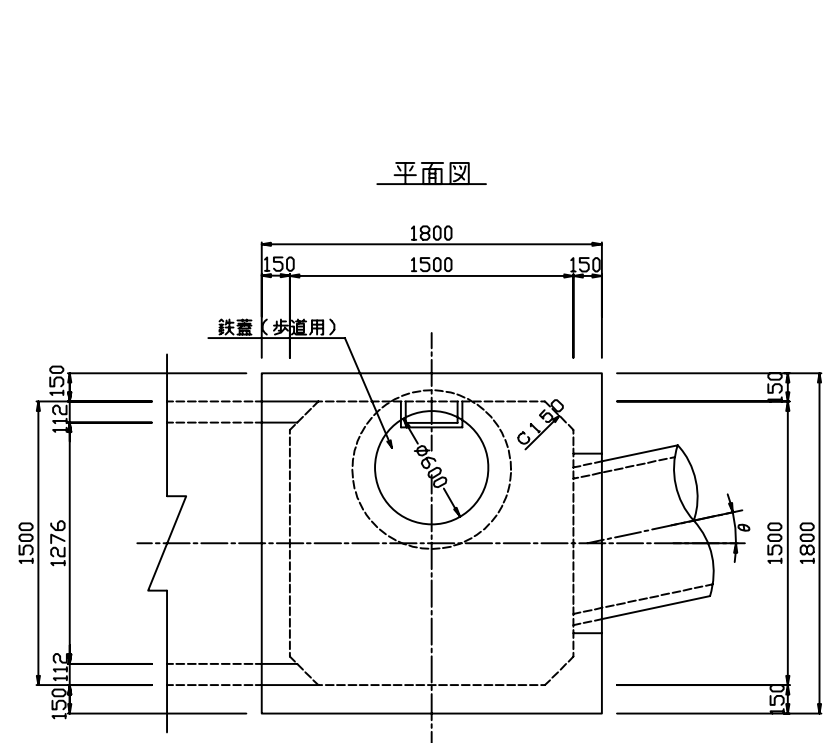


バイコンBL台付管φ700 (オープン掘削)



工事名	
施工場所	
図面名	縮尺
平成 年 月	葉の内
課長 係長 照査 設計	
京都市建設局水と緑環境部河川課	

# 連結柵工構造図 S=1:20



組立一覧表

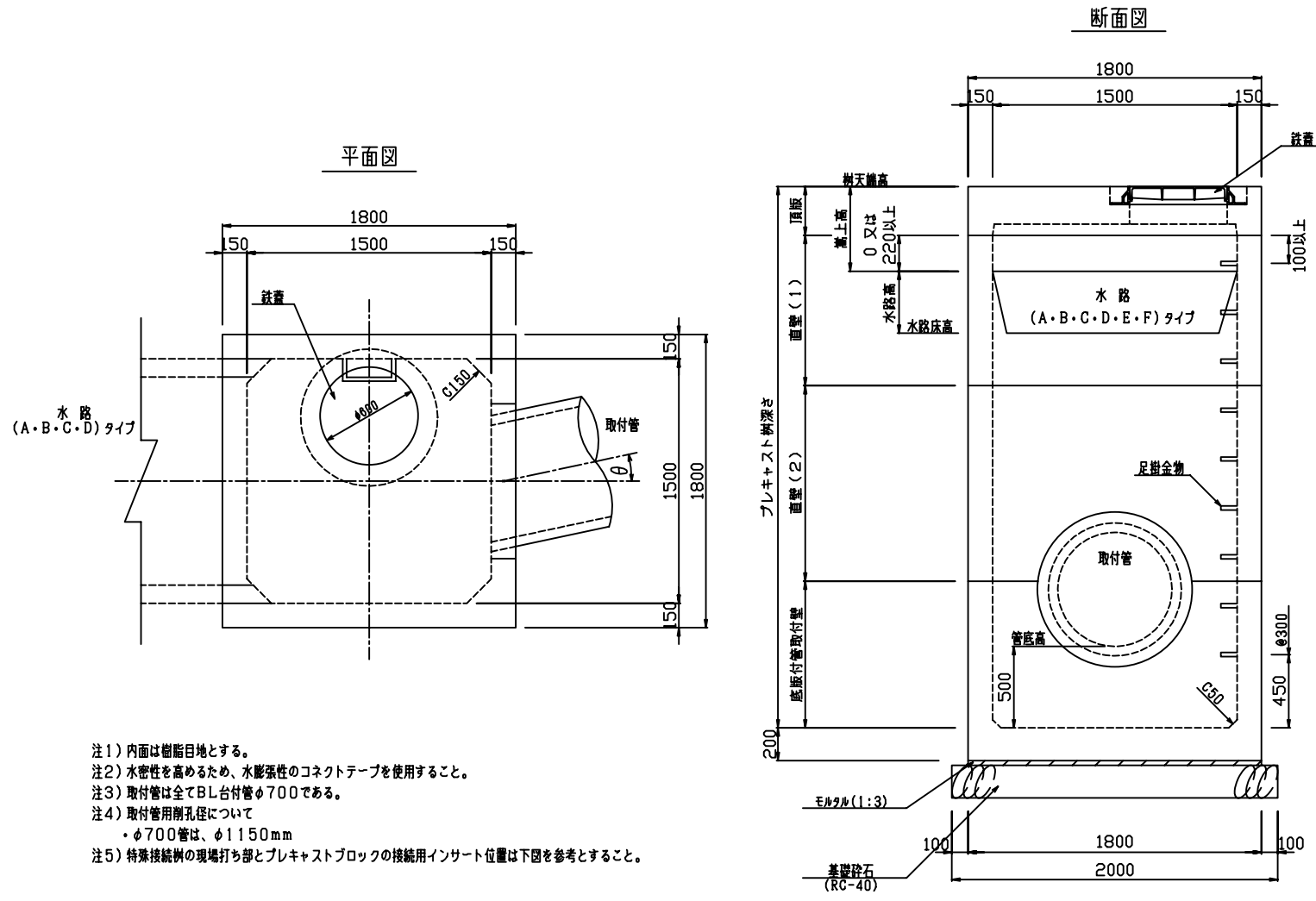
柵番号	平面形状	プレキャスト柵深さ	嵩上げ	樹天端高	管底高	水路床高	ブロック組合せ			柵置種別	
							頂版	直壁(1)	直壁(2)		底版付管取付壁
A1 連結柵	$\theta = 38^{\circ}19'$ 台付管600	3630	300	66.280	63.150	65.600	300	1230	1200	900	鉄蓋
B1 連結柵	$\theta = 1^{\circ}00'$ 台付管600	2520	300	66.090	64.070	65.410	300	1320	—	900	鉄蓋
B2 連結柵	$\theta = 1^{\circ}45'$ 台付管600	3531	300	66.181	63.150	65.501	300	1131	1200	900	鉄蓋
C1 連結柵	$\theta = 17^{\circ}27'$ 台付管600	2520	300	65.780	63.760	65.100	300	1320	—	900	鉄蓋
C2 連結柵	$\theta = 11^{\circ}59'$ 台付管600	2277	300	65.847	64.070	65.167	300	1077	—	900	鉄蓋
D1 連結柵	$\theta = 24^{\circ}40'$ 台付管700	3630	300	65.580	62.450	64.900	300	1230	1200	900	鉄蓋
D2 連結柵	$\theta = 35^{\circ}25'$ 台付管600	2373	300	65.633	63.760	64.953	300	1173	—	900	鉄蓋
E1 連結柵	$\theta = 21^{\circ}09'$ 台付管700	3354	520	65.354	62.500	64.454	300	954	1200	900	鉄蓋
E2 連結柵	$\theta = 14^{\circ}54'$ 台付管700	3753	520	65.403	62.150	64.503	300	1353	1200	900	鉄蓋
F1 連結柵	$\theta = 4^{\circ}23'$ 台付管700	3890	300	64.930	61.540	64.250	300	1490	1200	900	鉄蓋
F2 連結柵	$\theta = 12^{\circ}02'$ 台付管700	3376	650	65.376	62.500	64.346	300	1276	900	900	鉄蓋
G1 連結柵	$\theta = 15^{\circ}02'$ 台付管700	2420	300	64.830	62.910	64.150	300	1220	—	900	鉄蓋
G2 連結柵	$\theta = 2^{\circ}12'$ 台付管700	3842	300	64.882	61.540	64.202	300	1442	1200	900	鉄蓋
H1 水盤部	$\theta = 1^{\circ}18'$ 台付管600	3921	520	64.921	61.500	63.888	300	1521	1200	900	鉄蓋
H2 連結柵	$\theta = 9^{\circ}42'$ 台付管700	2339	300	64.749	62.910	64.069	300	1139	—	900	鉄蓋

- 注1) 内面は樹脂目地とする。  
 注2) 水密性を高めるため、水膨張性のコネクタテープを使用すること。  
 注3) 取付管は全てB1台付管φ600orφ700である。  
 注4) 取付管用削孔径について  
 ・φ600管は、φ1050mm  
 ・φ700管は、φ1150mm  
 ・その他A1、D2連結柵は、たてD=1050mm、よこD=1150mmの楕円とする。  
 注5) 嵩上げ高は、水路天端から樹天端までの距離を表す。

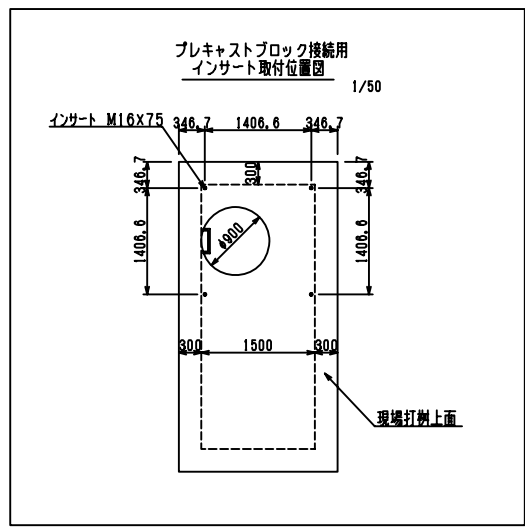
工事名	
施工場所	
図面名	縮尺
平成 年 月	業の内
課長	係長
調査	設計
京都市建設局水と緑環境部河川課	

# 連結樹工構造図

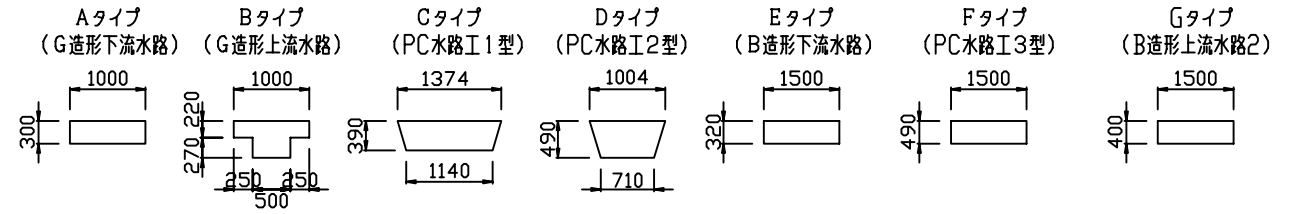
S=1:20



- 注1) 内面は樹脂目地とする。
- 注2) 水密性を高めるため、水膨張性のコネクタテープを使用すること。
- 注3) 取付管は全てBL台付管φ700である。
- 注4) 取付管用開孔について  
・φ700管は、φ1150mm
- 注5) 特殊接続樹の現場打ち部とプレキャストブロックの接続用インサート位置は下図を参考とすること。



## 水路断面形状種別



## 組立一覧表

樹番号	平面形状	プレキャスト 樹深さ	嵩上げ	樹天端高	管底高	水路床高	ブロック組合せ				設置種別
							頂版	直壁(1)	直壁(2)	底板付管取付壁	
A1 連結樹	φ=11°45' 水路 F	3080	300	63.850	61.270	63.060	300	980	900	900	設置
A2 連結樹	水路 F φ=8°40'	2590	520	64.110	62.020	63.100	300	1390	—	900	設置
B1 連結樹	φ=0°00' 水路 E	3350	300	63.120	60.270	62.500	300	1250	900	900	設置
B2 連結樹	水路 G φ=11°31'	2990	300	63.760	61.270	63.060	300	890	900	900	設置
C1 連結樹	φ=14°15' 水路 C	3320	300	61.590	58.770	60.900	300	1220	900	900	設置
C2 特殊 連結樹	水路 C φ=2°00'	プレキャスト部 910 現場打ち部 2300 計: 3210	300	62.680	60.270	61.990	300	610	—	—	設置
D1 特殊 連結樹	φ=7°35' 水路 C	プレキャスト部 2330 現場打ち部 2300 計: 4630	300	61.020	56.890	60.330	300	1130	900	—	設置
D2 連結樹	水路 C φ=14°41'	3040	300	61.310	58.770	60.620	300	940	900	900	設置
E1 連結樹	φ=10°58' 水路 D	3380	300	59.970	57.090	59.180	300	1280	900	900	設置
E2 特殊 連結樹	水路 D φ=4°11'	プレキャスト部 1220 現場打ち部 2300 計: 3220	300	60.500	57.480	59.710	300	920	—	—	設置
F1 特殊 連結樹	φ=0°13' 水路 C	プレキャスト部 1700 現場打ち部 2300 計: 4000	300	59.240	55.740	58.550	300	1400	—	—	設置
F2 連結樹	水路 C φ=17°53'	2960	300	59.550	57.090	58.860	300	860	900	900	設置
G1 連結樹	φ=3°4' 水路 A	3390	300	58.070	55.180	57.470	300	1290	900	900	設置
G2 特殊 連結樹	水路 B φ=0°02'	プレキャスト部 1590 現場打ち部 2300 計: 3890	300	59.130	55.740	58.340	300	1290	—	—	設置
H1 連結樹	φ=16°28' 水路 D	3330	300	57.170	54.340	56.380	300	1230	900	900	設置
H2 連結樹	φ=18°33' 水路 D	2960	300	57.640	55.180	56.850	300	860	900	900	設置
I2 連結樹	φ=11°50' 水路 D	3020	300	56.860	54.340	56.070	300	920	900	900	設置

工事名				
施工場所				
図面名			縮尺	
平成	年	月	葉の内	
課長	係長	調査	設計	
京都市建設局水と緑環境部河川課				